

「医学統計」終了の一句（川柳）と感想

秋田大学医学部3年生必修科目「医学統計」

2010/07/5～9

1. 重回帰？ 僕の心は 十回忌

解剖より、ずっとつらかったです。でも1年生のときに学んだ統計よりは、だいぶ理解が深まったと思いました。将来論文を書くときなどには、今回配られたプリントを再び読み、しっかりと理解のうえで論文の読み書きを行いたいです。

2. 目がかわく 朝から晩まで パソコン三昧 手をあげて スルーされると 疲れ倍増

全体を通してよくわからなかった。課題も難しかった。初めてで書き方がまったくわからなかったのもその解説を最初にしてほしかった。実習して実際自分で手を動かしてみると講義で説明をうけてもぜんぜん身につけていないことがわかった。今の時点で実力がついたかというところ…それは少し疑問である。最終日の課題はとて手こずった。何問かやり方を間違えてしまったので解きなおさねばならず、最後のほうは頭がパニックになった。1週間ありがとうございました。

3. 学生の 能力差にも 有意性

帰無仮説 五時までは 帰れない 棄却できずに 帰宅できない

おもしろくはなかった。ちょうど自分の忙しい時期に統計が重なってしまい、悪夢だった。しかし、統一の前から今の時期に移したのは、大変良心的だといえる。やり終えた後にはむなしさが残った。いつもほかの人より遅く、なんだかさみしかった。

4. パソコンに 翻弄されて 八時帰宅

18:00前にその日の課題を終えたので、先生に見て頂こうとしたら、19:00を過ぎて先生に見て頂くことができなかったということがありました。医学統計の1週間の大変さは、課題をやることだけではなく、先生を捕まえることにも原因があると思いました。また、パソコンのスペックの低さにイライラすることがあるので、来年の後輩のために良いパソコンを使わせてあげてください。将来論文を読む機会があったら、この医学統計の1週間の辛さを思い出しつつ、論文中の統計データを批判的に吟味できるようになればいいと思います。

5. 棄却されず 検討いらずで 超うれしい

統計は一応1年生の時にも勉強したのですが、ほとんど忘れていたので初めのころは何をやっているのか全くわかりませんでした。それでも講義を聴いて資料を読んでいるうちに、なんとか昔の知識を呼び起こし、課題をこなせるようになっていたと思います。せっかく短期間で頭に叩き込んだので今度こそ忘れたいようにしたいです。もし忘れても統一試験のときにしっかり勉強したいと思います。

6. 岩田さん 丁寧な指導 ありがとう

医療統計は難しく、苦手な分野であると感じました。ただ、村田先生、岩田先生、中村先生の懇切丁寧な指導で少しは自分なりに理解できたような気がします。ありがとうございました。

7. 説明が 日本語なのに 意味不明

いつも最後まで残っていてすみませんでした。

8. もう帰れ できることなら 帰りたい

課題減らしてください…終わりません。

9. 放課後に やりたいことも 棄却され

放課後にやりたいことがたくさんありましたが、ありがたい統計の講義と演習によって、その日の予定はすべて棄却されました。

10. 天気いい 夏にパソコン マジきつい

大変だったです。

11. 頼むから 文字変換は ちゃんとして

統計一週間だけでしたがとっても疲れました。文字を変換するのも時間がとられました…。統計はすごく難しいですが、この経験がいつか役立てばいいと思います。

12. 統計で 一日終わる 5日間

実際にデータを入力しての作業で統計の基礎を学びました。得られた統計結果をわかりやすく、正確にレポートとしてまとめることは案外難しいことだと思いました。もし、今後実際にデータを統計学的に処理する必要があるときには、今回学んだことを思い出して取り組みたいです。

13. 肩痛い 腰も痛いし 意識ない

統計実習中は水分もろくにとらないし、トイレも行かなくて、お昼ご飯も適当で、夜も、その日の課題がモヤモヤしていて、明日も統計かと思うと食欲なくて、夜よく寝られなくて、本当に2^{キム}やせました。統計ダイエットばんざい……

14. 睡眠と 食事と統計 一日が

これでおしまい。もうやだ、こんな生活……。パソコンが苦手なので打ち込み作業死ぬほどつらかったです。難しかったけど、原理を理解するとまあ面白いような気もしました。一週間でやる量としてはまだ多い気がするので、来年はもう少し課題を減らして上げてください。

15. 統計学 後に残るは 疲労感

今日の授業開始時には、課題 30 までやり遂げた後の達成感がさぞ凄まじうとおもっていたが、達成感や感動以上に疲労感と憔悴感で一杯の現状である。思い起こせば月曜日からの疲労の蓄積だった。家に帰ればベッドに倒れこむ始末、さらには夢の中でまで統計学に苦しめられる悲惨な 1 週間であった。統計が大変だという前評判は耳にしていたが、想像以上だった。授業で扱った総数はそれほど多くないため、実際の研究の現場で扱っているであろう数を将来自分が計算することになるかもしれないと思うとぞっとする。今回は、どの事例の時にどの解法をするべきかヒントが与えられている状況なので、どの方法をつかって統計すべきか判断できるようになることが、今の私の課題だと思う。

16. もういやだ 早く帰って 寝たいです

この一週間はすごい疲れましたが、わずかに統計のことが分かった気がします。

17. 統計学 隣韓国 あばばばば 解析に 必要なんだよ 金(キム) 仮説

お疲れ様です。こんばんは田村です。中村俊輔に似てると言われても似ていないものは似ていませんので、御勘弁を。しかしながら、統計って難しいですね。わからない部分が多かったのでフラストレーションが積みゲーでした。村田先生、またよろしく願います。

18. キムタオル キムカセツヤダ キムワイプ

医学統計は研究医だけでなく臨床医にとっても必要なスキルだと感じました。条件によって使う統計がさまざまになかなか慣れることができませんでしたが、少しずつ理解を伴うようになったと思います。

19. 平均値 比べ続けた 一週間 平均値 比べたくない しばらくは

疲れました。しかし、この条件下ではこの方法を用いる、という考えが100%ではありませんが理解できたように思います。基礎配属でSPBSのソフトを用い、様々な統計手法を用いてレポートを書きましたが、本質を理解していなかったため、何故このような方法を用いるのかなど、わからないことが多いまま使っていたように思います。そのレポートを見返して、何故ここでこの方法を用いたのかということが今になって理解できました。これから先、またいつ統計処理をすることがあるのかわからないので、来るべきその日のためにできる限り、学んだことを消化したいです。しかし……。疲れた……。

20. クーラーで 寒いし先生 来ない席

一年生で基礎統計と応用統計を学んではいましたが、今回の実習はとても難しいものでした。しかも前の奥の席はクーラーの風が直接当たるし、先生もなかなか来ないし、で大変でした。しかし実践的な内容であったため、得たものも多かったと思います。実習が遅くまでかかることもありましたが、最後まで指導して下さった先生方に感謝します。有難うございました。

21. 帰無仮説 書いてもかいても 次がある

なかなかいろいろな解析・検定のやり方や考え方が理解できず苦労した。しかし最後の演習ではじめのころよりは医学統計のやり方や考え方がわかるようになった。全体を通してかなり大変だったと思う。本当にきつかった。

22. 画期的 更に良いのは 簡易的

年齢や性別を調節した分析のできる、画期的なソフトだと思った。しかし、もう少し私たち学生にも優しい簡易なものだと思った。が、もともと統計という分野自体が難解なので…しかたない。

23. 有意差の 意味をようやく 知った夏

基礎配の時からちょいちょい SPBS を使っていたことを考えると、実に長い間医学統計というものに触れていたような気がします。1年生の時に履修した統計の授業なんかをちらほら思い出しつつ、やっぱりよく分からんなあと思いつつも統計に取り組みましたが、さすがに2週間近くもやっていると慣れてくるのか、どのデータの解析にどの方法を用いればいいのかということがおぼろげながらも分かってきたように思います。基礎配中に、ゲームという自分の興味のあるデータを1から集めて解析まで行ったことで興味がわいたのか、今週の統計は先輩方が言うほど苦ではなかったように感じます。とはいってもとても疲れましたが、おそらくこれから臨床の授業が始まると解析方法なんて頭の隅の隅に追いやられてしまうこと必至だと思いますが、この1週間で学んだことは忘れないようにいつか自分のものにできたらいいなあ、と思いました。

24. 固まった パソコン画面と 肩と腰

1週間多くの統計方法を学んで、論文で統計を用いるときには誤った結論を出さないように、細かな注意が必要であることを学びました。理解するのは大変でしたが、将来活用できるといいなと思います。

25. 手を挙げて アピールしても 誰も来ず

今回の実習では、初めて自分の手で本格的な医療統計をやってみて、データの有意性を実証するのがこんなにも大変なことだとわかったし、また、ひとつのデータから読み取れる情報量の多さにも驚いた。有意性を調べると一口に言っても、立証したい内容によってもまったく異なる手法を行ったりしてとても大変ではあったが、それぐらい大切なことなんだろうと思った。また、今回の実習では専門用語を多く使用していたが、こういうのを普通の人に説明するのも大変そうだったと思うが、将来医師として働くときにきっと出会うことだと思うので、これからはしっかり勉強していきたい。

26. 統計に 表情奪われ 帰る夏

もともとパソコンに向かうのは嫌いではないので、ゆっくり統計を勉強していきたい。だがどの教科についてももっと時間をかけて勉強したいと思うのは同じなので、統一前までに2回くらい統計を勉強できたら良いと思う。配布されたプリントは読み返せばある程度理解できそうに見えるし、何とかかなと思う。先輩たちの「解剖と同じかそれ以上にキツイ」という前評判があったので18:00下校になっても納得できた。何も聞かずに一週間の授業を受けたらきっと「解剖並みに大変だった」という感想になるかもしれない。実際のところ去年より課題の量は減ったらしくこれはありがたかった。部屋が涼しかったのは良かった点である。

27. その眼鏡 落ちてても平気 岩田さん 表計算 一つのずれが 響きます

こんな川柳ですみません。医学統計は難しかったです。どの検定を使うのかが分かっても、使い方が間違っていたり使うための条件がきちんと述べられていなかったりしてなかなか課題ができあがりませんでした。いつも6時過ぎまで残ってしまいました。けれども、今までよく分かっていなかった「有意差がある」という言葉の意味が前よりも分かるようになりました。

28. 昼時は p値を見ては 腹が減る

何もわからない、キーボードに触るのすら嫌だと、苦手意識を抱きながら始まった医学統計だが、こうして振り返ってみると、やはり苦手な分野には違いないと感じた。何より一番辛く感じたことが、画面上の数式やデータの羅列を、意味あるものとして頭の中でイメージし、それを文章化するという作業だった。ただ、経験値を積み重ねることで、だんだ

んとイメージが湧いてくるのを感じた。関係のなさそうな二つの事柄に関連性が見られたときは嬉しくさえ思えた。これから自分が医者として働き出したとき医学統計を使うことがあると思うが、そのとき今回学んだことを活かしたいと思う。

29. 友達の 助けなくして 今はなし

元々パソコンが非常に苦手なので、一日中パソコンに向かいこんな難しい作業をするのは大変でした。初日など医学部やめてやろうかと思うほどでした。しかし、終盤になると少し要領もわかってきて統計の一端をようやく垣間見た気がしました。今回先生や友人のアドバイスを非常に救われ感謝の気持ちでいっぱいです。

30. OLの苦勞を 身をもって感じ取った 5日間

31. この日々に あったらいいな 優位性

32. 統計が 終わってやっと 夏休み

1週間お世話になりました！！

33. パソコンは 苦手なんです 大変でした

34. 帰無仮説 意味もわからず 棄却する

医療統計は将来実際に使うということもありとても役にたつものであったと思う。しかし一度にたくさんの知識をつめすぎて混乱してしまったので、一日の量を減らして2週間にわたってやらせてほしかった。

35. 中村さん 中尾彬に 似てますね

各検定のなかでは比率の検定が特に難しかったです。

36. 慣れるだろう そんな言葉が 夢のまま

とても濃い5日間でした。将来役に立つのだろうと思いつつとてもたいへんでした。

37. 来年は この授業は 受けないぞ

38. 手を上げて 気づいてもらえた 2時間後

医学統計のデータは信頼性が非常に大切であるということで、さまざまなことを考慮しながら行わなければならない、大変さを身をもって学べた。検討する方法が非常にたくさんあり、何を使うのかを考える時点で困惑していたので、将来のことも考え、しっかり使いこなすことができるように復習をしっかりとやりたいと思う。

39. パソコンは 統計学より 慣れないな

統計学でパソコンのソフトの使い方が難しく、なかなか思うように操作できなかった。もう少しソフトの説明をしてから課題をやったほうが理解が早かったと思う。

40. カチカチと マウスとキーと こりゆく肩

毎日パソコンで作業していたため、目は乾燥し、手も疲れ、肩もこりましたが、統計は医学において重要なものだと思うので、使えるようになって良かったと感じています。いつかこの得た知識を使ってみたいですが、今はパソコンの作業はしばらくしたくないです。

41. 終わっても 先生待って 三十分

プリントを理解するのが大変でした。年齢や性別を考慮したりすると結果が変わったりするのが面白かったです。統計ソフトを使いこなすのは大変でした。対応があるかないかなど、状況に応じた検定方法があって、正しい検定法を使えるかによって、論文の正確さも変わってくるのだと思いました。

42. 箱ヒゲ図 あなたとわたし 黒ポッチ

12時には昼休みがとれて5時には帰れる程度の分量にしてくれたらよかったです。データの入力で間違っている場合があまりにも多すぎるのでデータで渡してほしかったです。

43. パソコンが 悩みのタネの 一週間

ここまでパソコンに悩まされた一週間はこれまで無かったように思います。しばらくはあまりパソコンに触りたくありません。しかし、授業が進むにつれ少しずつ統計の重要性がわかってきたように思います。

44. 暑い夏 医学統計 キツイ夏
進まない けれど打ち込み 上達す
手を上げて 先生待てど 通り過ぎ
呼び出しは どうかしないで くださいね

45. 授業中 日に日に増える ひとりごと

こんなに長い時間パソコンと向かい合っていたのはじめてかもしれません…。1週間前に比べたら、統計の知識は格段に増えました！大変でしたが、理解を深めながら作業をするのは楽しかったです。

46. とうけいや ああとうけいや とうけいや

47. 偏頭痛 きっと数字に 拒否反応

私はパソコンが苦手で、数学的なことも全然、さらには文章を書くことも得意ではないので、この1週間、かなりつらかったです。今回教わったことを自分一人の力で完璧にできるかと言われると自信はありません。だけど、今後医学に携わっていく上で、一度でも医学統計の実習を受けて自分の手を動かしたことは必ず糧になると思いました。全く統計をやったことのない人よりは理解しやすいのではないかとと思っています。 ご指導ありがとうございました。

48. きつかった 目・肩・腰が つらかった

しばらくは帰無仮説という単語をききたくないです。

49. 打ち込んだ データーずれて 見直した

医学統計とは様々な解析方法があり、使いこなし、覚えるまでが大変でした。まだ完璧に覚えてないのでしっかり復習したいと思います。

50. 聞いてくれ 俺の三角筋 泣いている

医学統計は先輩から死ぬほど疲れるぞと言われ、前々からびくびくしていました（実際村田先生が死の医学統計と言っていましたし…）。医学統計の大変さはまずデータ入力から始まり、結果の読み取りはもちろんのこと、先生にチェックをもらうため、ひたすら手を挙げ続けるという軽いいじめのような拷問が待っています。長いときは30分手を挙げ続けるなんてザラでした。この一週間で三角筋が鍛えられることができました。これで部活もうまくいきそうです。本当にありがとうございました。

51. 統計学 よく学んだけど 分からない

初日は何をしているかすらよく分からず、ただパソコンの前に長時間いるだけで苦痛でしかありませんでしたが、2日目以降は徐々に理解が伴ってきたため、時間があっという間に過ぎるようになってきました。しかし、最終日の課題ではやはり完全には理解していないことが判明し、統計学はやはり難しいという感想を持ちました。

52. モニターと 表と毎日 ならめっこ

笑わせることができたためしがありませんでした。実習の内容としては、盛りだくさんで正直不完全燃焼に終わったところが多かったです。チェックしていただくのに先生方が2～3人に対し、生徒と課題数のバランスが余りよくはなかったのかと思います。実習内容は将来論文作成に有用だと思うので、理解を深めたいと思います。

53. しばらくは パソコン画面 見たくない

最初はどの検定を使うのかよくわかりませんでしたが、課題をやっていくうちにわかるようになったと思います。検定法が違くと結果が違ったり、さまざまなことを考慮することで結果が変わるのが興味深かったです。でもとても難しかったので非常に頭を使いました。丁寧に指導して頂きありがとうございました。

54. 計算は コンピュータに まかせます

先生の説明を聞いていてもよくわからなくなるほど複雑でした。例題として要約の仕方のテンプレートがあればこんなに苦労しなくてもいいんじゃないかと思いました。50人の迷える子羊たちにたった3人なのに常に丁寧に説明してくださいました先生方、ありがとうございました。

2010/07/12~16

55. 岩田さん あなたの眼鏡は 素敵です

2回目ということもあり、かなり理解しやすかった。ただ最後の演習問題は、どの解析方法を使えばいいのか悩むものもあった。これをやってみることで、実際に統計を使う場面がでてきた時にどのように使い分ければいいのかを考えるプロトコルが頭にできた。さまざまな統計学的な計算方法がある中で適切なものを選ぶのは至難の業であると思った。次使うときにさらに極めたい。

56. とうけい (統計) は 進まないけど とけい (時計) は進む

とても長い1週間が終わろうとしています。毎日課題が多く、こなすのは大変でしたが終盤になってようやく、統計がどういうものなのかについて少しだけ知ることができたように思います、というか思いたいです。

57. 帰無例題 棄却か否かに 悩む夕べ 目と腰に 痛み残るも 記憶のこらず 岩田先生に 今日はCox先生の誕生日 と教えられ

高校時代、青チャート片手に数Ⅲの難問と格闘したことを思い出した。いやむしろそれより難しかったかもしれない。各課題について、高校時代の数学同様、例題と模範解答、その解説があれば、答案の書式について悩まず、より短時間に、先生の負担も軽く済んだのではないかと思う。もちろん「高校数学と同じ取り組み方をされても困る」といわれればそれまでだが。基礎配属で公衆衛生をやった関係で、自殺死亡率統計で数字に関して統計的なことをなにも言うことができずに歯痒い思いをしましたが、これで金子先生に何か言えそうです。内容としては興味深いものが多かったので、復習してみたら興味が出て好きになるとおもいます。遅くまで見ていただいてすいませんでした。

58. 晩御飯 毎日アイス 貧血だ

初めてのことばかりで難しかった。少しの言葉の違いで、方法が変わることがわかった。医学論文にも使われるので、理解していないといけないと思った。先生のおっしゃるとおり、しっかり勉強して、国試で落ちないようにしようと思った。一日中パソコンに向かっていたので、疲れて晩御飯をつくる気力がなくなり、毎日アイスとお菓子を晩御飯にしていた。すると、貧血気味になり、体調があまりよくなってしまった。それを川柳にした。予想していた通り大変だったが、一週間前と比べて格段に賢くなったように思う。

59. 統計は 荒唐無稽じゃ Not OK (ノットオーケー)

僕たちがやがて医師になり、悠久の時間が流れた時、この一週間で学んだ内容はとうに忘れ去られているでしょう。しかし、この一週間を乗り越えたという記憶だけはたとえこの地球が減じようとも忘れることはありません。そしてこの記憶が僕にいつまでも自信と勇気を与えてくれるのだ。

60. 入力ミス 何で今頃 ぼやく午後

ひたすらつらかったです。村田先生とのおしゃべりが唯一の息抜きでした。この1週間で帰無仮説という単語が頭から離れなくなってしまったような気がします。少しは統計学のことが身についたような気がします、気のせいかもしれませんが。

61. 純郎は～ じつは～ 統計！！

一週間の統計の授業で学んだ知識をこれから何かにかかしていきたいです。しっかりしたデータを出すことは正確な情報を得る上で大事だと思うからです。

62. 雑我慢 医学統計 雑我慢

医学統計1週間ありがとうございました。内容はとても難しく、理解するのは非常に困難でした。この医学統計で学んだことを医師になってからでも有効に使えるようにさらなる理解を深めていきたいと思います。

63. 統計後 夏休みだ 爽快だ

最初はなかなか理解できず、とても疲れましたが、先生に質問して、なんとか理解できました。ありがとうございました。

64. 帰無仮説 いくら打っても 金仮説

最初はたくさんの検定方法に頭が混乱してしまいましたが講義を聞き、プリントを丁寧に読んでいくことでなんとか自分なりに理解をすることができました。今回の医学統計が将来のこういった場面で役に立つことになるのか今はまだ分かりませんが、その時がきたらしっかりと使いこなせるようにしたいです。

65. 課題数と 私のやる気は 負の相関

受験期以上に新しい知識・技能を身につけた1週間でした。実習で病院を回ると、先輩の医師から「統計は医者になってからかなり使う」と言われていたので、ここで習得してしまおうという意気込みで望みましたが、まだまだ勉強が必要みたいです。この1週間で学んだことをもとに、現場に出る前に多くのデータを処理し、比較し、その関連や因果関係をパッと導き出せる技術をしっかりと身につけておきたいと思いました。講義を聴いただけでなく、自分でたくさん分析したことで方法の本質がわかったりしてよかったです。

66. もう二度と やらないつもり 統計は

統計はとても難しかった。将来使うかどうかは不明であるが、使うような方面には進みたくないと思った。知識が少しはついたのでよかったと思う。

67. いざわさん 無限のかなたへ さあいくぞ

この一週間はとても大変だった。統計の基礎知識が十分でなかったのも、いろいろな検定を扱うのにもとても苦労した。しかし、将来医学研究を行う際に絶対に必要な知識・技術であるので今回学んだことをしっかりと覚えておきたいと思う。

68. つまらない みんなの川柳 つまらない すみません ただの嫉妬で すみません

川柳いいのが思い浮かばず愚痴ってしまいました。すごく疲れましたが先生のおかげでなんとか終わることができました。お疲れ様でした。

69. 統計に 没頭する日々 鬱々と

医学統計の5日間は、難解なことばかりで辛いものでした。しかし、これほど一つのことに夢中で取り組んだのは久しぶりでした。とても充実した5日間になりました。

70. エクセルで 打ち間違えて 腱鞘炎 弁当だ 早く帰ろう 昼休み 帰無仮説 いくら打っても キム仮説 ラムカナ島 ずっとステーキ うらやましい

一日中パソコンに向かいそれを一週間続けたことは今までなかったので、今課題を終わらせた自分に驚いています。医学統計を学んで、今まで何も考えず素通りしてきたデータも、比較や関係を考えたら興味深い結果が得られていたかもしれない、と考えさせられました。今回の授業で学んだことをこれからの医学に役立てていけたらいいと思います。質問してチェックされた時に、先生同士で意見が違うことが多々あったので、やらなければならないことを統一していただけただけありがたかったです。

71. 重回帰 ただひたすらに 怪奇なり

とにかく疲れました。内容もかなり難しかったです。今後、この経験が生きてくことがあることを期待します。

72. 手を上げて 横断歩道を 渡りましょう

課題の量が多すぎて、作業に追われて理解しながら進めていくのに非常に苦労しました。お疲れ様でした。

73. 夏休み かかってこいや 出てこいや

疲れました・・・。夏休み楽しめます！！

74. ウェブクラス 提出完了 外は闇

医学統計は臨床に出ても大事な分野だという認識はありましたが、数字ばかりで難しいという印象があり、なかなかしっかりと勉強する機会ありませんでした。今回の実習中もわからないことだらけでしたが、先生方の指導のおかげで何とか最後までやり遂げることができました。今後も論文を読むことはたくさんあると思うので、今回学んだことを生かしていきたいと思います。

75. パソコンが 嫌いになった 一週間

医学統計はとても難しく、途中で何度も挫折しそうになった。しっかりと家で復習したいと思います。

76. 終わるのが 毎回最後で ごめんなさい

今回の実習は、十分な理解をしきれないままどんどん先に進んでしまい、非常につらいものとなりました。時間をかけたからといって理解ができるのかはわかりませんが、もう少し日程に余裕があればよかったです。実習先の先生方も、医学統計は非常にわかりにくく難しいけれど確かに大切だとおっしゃっていたので、この先も機会があれば、できる限り理解に勤めたいと思います。

77. データ処理 1列ずれて はいオワタ ¥(°o°)/

今回の実習で、4月から授業で勉強してきた社会医学の、年齢調整などの各種調整の意味や方法、その原理についての理解ができました。統計学は、将来臨床に出たときにも非常に大事な意味を持っており、論文を読む際になくてはならないスキルの1つだと思うので、この時期からきちんと基本を身につけて将来困らないようにしたいと思います。

78. 統計が 終わって遂に 夏休み

統計は、元々好きじゃないというか、苦手だったので、今回もすごく苦手意識を持ってやっていました。でも、苦手なりに頑張れたと思います。実際に臨床医の先生から、「英語と統計はちゃんとやった方が良い」と言われた事もあるので、将来医師になった時、しっかり出来る様にしたいです。

79. いわたさん なかむらせんせい いわたさん

5B 実習室はクーラーもきいてとてもすごしやすかったです。統計学がいつか自分のためになればいいとお思います。ありがとうございました。

80. 5日間 雨と統計 心打つ (鬱)

こんなに長くパソコンに向かっていたのは初めてでした。ひとつの事にこんなに集中的に取り組んだのは久しぶりで、自分もまだこのくらいの時間集中してられるのだと、少し自信ができました。

81. 挙手中の 今なら言える 影薄い

統計が始まる前の週から手首が腱鞘炎気味だったので、乗り切れるか若干不安でしたが、何とか終わったようです。帰るころには日が暮れている、というパターンを覚悟していたのですが、思ったより早く終わったのでよかったです。課題の読み間違いやら統計ミスやら、そういうのがなければもっと早く終わったのでしょうか……。統計結果のデータをミスした分まで保存しておいたら全部で85個……。提出課題不備で呼び出されることのないように……。二週間お疲れ様でした。

82. 帰れない 先生来ないと 帰れない

なかなか見ていただけなくて寂しかったです。今回復習問題を解いてみていかに自分が理解不足であったか痛感しました。できればもうやりたくないですけど…将来のために統計を好きになる努力をしたいと思います。

83. 統計の 疲れを癒す 生ビール

医学統計はかなりハードでした。先週、病院実習で行った大学病院の小児科の先生もかなり大事と言っていたのでこれからも使っていくのだなあと思いました。今週、理解が足りなかった分は夏休みに再びテキストを開いてみて読んでみようと思います。これからも使うことになるのでがんばりたいと思います。

84. 帰無仮説 漢字変換 面倒だ

とても疲れたというのが正直な感想です。もうやりたくないです。作業中は頭をフル回転させてがんばることができました。帰無仮説「医学統計の作業時間は、私の体力の限界値に影響を与えない」は危険度5%で棄却でき、「作業時間は私の体力の限界値に有意に影響を与える」と言え、作業時間の増加は私の体力の限界値を有意に上昇させると結論づけることができると思います。

85. 統計は 知恵と気力と 助け合い

統計の授業を受けて、今まで敬遠していた統計に少し慣れることができました。特に、授業中のわかりやすい例題で各検定の特徴をつかむことができました。レポート課題の記述様式については不慣れなこともありかなりの時間がかかりましたが、丁寧な指導のおかげで身に付けることができました。不出来でしたがありがとうございました。

86. 疲れ果て みんなの顔は χ^2 乗

非常にタフな授業でした。ですが今日の演習で少しは統計的な考えが定着してきたかと思います。今後チュートリアルなどでこのような考えを使う機会があったら積極的に今回の経験を生かしていきたいと思います。

87. 明日には 新たな課題が 追ってくる

統計というものが何なのかわからず、死ぬかと思いました。1週間がものすごく長く感じました。何もわからない私に熱心に指導してくださった先生方には、本当に感謝しています。ありがとうございました。

88. 俺のだけ 有意差でない タイプミス

この一週間医学統計を勉強して、原理はよく分かりませんでした。データの要約の仕方について何となく理解することができました。私はパソコンの操作が苦手なこともあり、授業自体は大変でしたが、先生や仲間の手助けもあり何とかやり遂げられました。一週間お世話になりました。

89. 統計と 人の優しさ 心打つ

医学統計は、先輩から大変だという話を聞いていたので、とても始まるのが怖かったです。実際始まってみると、友達と助け合って相談しあって楽しく出来た面もありましたが、やはりとても難しくて大変でした。一年生のころの統計の知識が自分にほとんど残ってなくてびっくりしました。しかし、自分で問題が解けたときの達成感やちょっと自分の頭がよくなったような感じは、とても気分がよかったです。医学統計をやってみて、統計って便利だなと感じたり、普段見過ごしてしまうようなことを細かく分析できるのは面白いなと思いました。将来医学統計を使う際には、今週学んだことを生かせたらいいなと思います。いろいろ質問する私に丁寧に教えてくれた先生、一緒に相談しあった友達みんなに感謝したいです。

90. 適合度 私とパソコン 棄却したい

今回は2度目の医学統計実習だったので、前回のときに比べれば内容の理解度は高かったと思います（ただし、有意性は検定していません）。時間的にも、前回よりは比較的早く進めることができたので、その分じっくりと考えて納得した上で回答できたと思います。何度やっても難しい分野ですが、タイピングは早くなりました。もうやらずにすむことを祈っています。

91. 帰りたい そう思いつつ はや七時

今回の医学統計を通して、学者としてデータをまとめる場合について有用な技術を習得できた。これからも同様にデータを扱う場合に、それらをより深く読み解けるようになりたいと思う

92. きっと来る この一週間が 役立つ日

2年生のときに学んでいたはずでも、様々な知識がぬけていてかなり戸惑った。でも、あのときよりずっと理解するまでに時間がかからなかったし、ある程度は分かりながら文章が書けたので、少しは成長しているようだと思えた。医学統計は臨床でも大事だとよく言われるので、今後も少しずつ自分なりに勉強して、実際に使うときや論文を読むときに困らないように努力しようと思う。

93. 分からない 協力体制 両隣

1年の統計の授業の時は、統計学でやっていることは全く理解できず、ただひたすら否定文で帰無仮説を作り、それをPの値で比べて棄却するかしないかだけを考えると単調に作業をこなしていましたが、今回の統計の授業で、少なくとも自分が何を目的としてその検定を行っているのか分かった上で作業ができるようになりました。未だに95%信頼区間や回帰係数とは何なのかを説明しろと言われても全く説明できませんが、少なくとも相関と比較を説明したり、どんな問題のときにどの検定を使えばいいのかなどは（プリントを見ながらならば、時間をかけた上で）自分で理解して選べるようになりました。今後なるべくなら統計学とはもう関わりたくないと思っていますが、どうしてもやむを得ず自分で統計を行わなければならない際には今回の授業のことを思い出し、またプリントを参考にして乗り切ろうと思います。

94. 仮説より 棄却したいな 疲労感

統計は大変だと聞いていたが、本当に大変でした。でも日が進むにつれて、新しいことをやっているはずなのに慣れていく様になりました。何年後かに何も見ずにまた同じことを行うのは無理かもしれませんが、きっと何かの役に立つと思います。

95. 教官の 目を盗んでは 早帰り

正直な話、結構自分にはキツイ一週間でした。夏休み前に立ちはだかる大きな壁です。内容的に難しいというのもありますが、データの打ち込みやソフトの使用法などにも非常に悩まされました。心なしか前髪が薄くなったような気さえます。それでも、この一週間でいろいろなことを学んだと思うので、今後これを生かしていけたら良いと考えます。どうもありがとうございました。

96. パソコンの 画面につば吐く 一週間

疲れました。夏休みが楽しみです。

97. 統計の 苦しみ終わって 夏が来た

98. 先生を 待つ二の腕が 筋肉痛

前期の授業で疫学について学びましたが、実際にパソコンを使ってみると、医学統計は私にとって非常に複雑で難しかったです。目的によって、分析法が異なるため、最初にどの分析法を用いるか定めることができず、なかなか課題が進みませんでした。課題を通して、医学統計が医学において重要な位置づけにあることは理解できました。今後もこの知識を忘れず生かしていけるようにしたいと思います。そして、今回の授業でご指導いただいた村田先生、中村先生、岩田先生、ありがとうございました。

99. 帰無仮説 帰りたいのに 帰れ無い

なんだか何をやってるのかよくわからないまま作業しているところもあって、いきなりは難しかった。パソコンの文字入力スピードがあがってよかった。

100. 相関の 分析結果が 壮観だ

今回授業を受けるにあたって、自分はパソコンに関して基本的な知識しかなく、やり切れるかどうか不安でしたが、先生の懇切丁寧な講義とガイドブックのおかげで何とかやりきることができました。授業を通して統計学が医学にどれだけ大きな貢献をしているかということと、同時に誤用してしまうことの危険性を学ぶことができました。将来訪れるであろう統計学を利用する機会に、今回学んだことをしっかり利用しようと思いました。非常に貴重な経験をすることができました。ありがとうございました。

101. むずかしい その分解けると うれしいな

一度勉強していたので比較的覚えているかと思って臨みましたが、だいぶ予想と違い苦戦しました。ただ、以前と違う点として事前に社会医学の授業を受けていたので、理解がより深まったように思います。今後ずっと使う医学統計をじっくり学ぶことができてよかったです。これからも意欲的に学習していきたいです。

102. 今回で 交絡因子は 攻略です

基礎配属で論文を読んだときに出てきた危険率や95%信頼区間などの算出の仕方がわかったので、以後論文を読むときにより批判的に読むことができると思う。ただ、今回実習をやりながら思ったことは、統計の理論や実践方法に対するプリント・講義での説明が少なく、また、推奨された教科書その他にも記載がなかったことで、実習中に理解を深めていくことが困難であった。先生方に聞くのにも、課題のチェックを大勢の人が待っている中で、自分の理解のために多くの時間先生を引き止めるのも気が引けたため、結局あいまいなまま作業したものもあった。先生方の人数は増やせないと思うので、もう少しプリントなどの資料を詳しくしてほしかったです。

103. 5日間 がんばったから 夏休み！！

最初はソフトの使い方からまったくわからず、大変でしたが最後にはプリントを見ながらでしたがさまざまな問題に取り組めるようになったのでよかったです。

104. 休憩中 教室戻ると 皆いない

普段使用する機械の無い操作にはじめは戸惑ったものの、先生方に指導をいただいたり、仲間と協力したりすることで、日に日に技術を習得していきました。統計学が数値で、理論的に説明してくれるおかげで、患者さんに根拠を持って説明できるので、最低でも、数値の示す意味を読み取って、理解できるようになりたいと思います。

105. とうけいは やっぱりたいへん もういやだ

106. 目のかすみ 肩こり引きづり 夏休み

107. パソコンで 首肩腕が 筋肉痛

SPBS という初めて使うソフトで学習したため、最初は戸惑ったが、慣れてくるととても使いやすいソフトだと思った。統計学と医学との関連性は薄いように感じていたが、今回の実習を通して統計学と医学が密接に関連していることを実感した。今回学んだことは、医師になってからも必要になってくることだらけなので、統一試験終了後も忘れないようにしなければならないと思った。

108. まさか二度 統計やるとは 露知らず

不本意ながら2回目の統計の勉強でしたが、1回やったことがあったので前よりはスムーズに理解することができました。課題内容は難しかったですが、将来論文を書く上で必要不可欠なことなので、大変勉強になったと思います。

109. 将来はきっと 役立つ 医療統計

今までまったく計算の仕方などわからなかったが、さまざまな症例についてのデータの評価の仕方はなんとなくでもわかってよかったと思う。

110. 眼が痛い これが終われば 夏休み

2回目でしたがなかなかスムーズに理解できていなかったように思います。ご指導ありがとうございました。

111. 悲しいな データが飛んだ 夕暮れは

統計学の授業を通じて、久しぶりに数字にふれた。自分にとっては新しい角度からの物事の観察の仕方に戸惑いもしましたが、統計の大切さや一方で危うさも学ぶことができ、大変有意義な時間になりました。ありがとうございました。

112. 二年目の 統計やっぱり 肩こった

二回目なので前回よりは早く終わることができました。でもやっぱり統計は難しいと思います。将来、何か役に立つときは今回の授業を思い出したいと思います。

113. 最後まで 自分のしたこと 分からずに

自分のする作業は分かって問題は解くことはできたが、その根本はまったく理解できずもう一回読み直してみないといけないと思いました。

2008/12/1～5

1. ウェブクラス 演習結果を 貼る快感 (何物にも変え難い喜び)

この1週間を通して統計の基礎が多少理解できたと思う(まだ全て終わっていないが…)。何より検定を行う際にあの煩雑な計算を行わなくて済むのが素晴らしい。あのソフトはどこで入手できるのでしょうか。理解をより十分なものにして、いつの日か Nature 誌に掲載されるような論文の間違いを指摘できるようになりたい。有難うございました。あの島の名前にはちょっと笑いました。

2. 帰宅時間 座席によって 有意差あり!?

今回の医学統計の実習を通して感じたことは、データを正しく扱うことの難しさです。論文を読む際、また自分自身で論文を書く際に、統計学を理解していないと大きな間違いをしてしまうと思いました。今後とも、勉強を重ねたいと思います。先生、端の列にも回ってきてください・・・

3. 一発で 変換されない 金仮説 (漢字変換で「帰無」が毎回「金」と出る)

パソコンに向かうのは好きなのですが、統計はとても大変でした。論文を読むときに、今回学んだ統計学を生かせたらいいなと思います。今回は、すごく時間がかかってしまい、空腹が悩みの種となっていました。来年度の統計学では、お腹がすかなくうちに帰りたいです。

4. 未提出 たまりにたまって 冬休み

僕は大好きですが統計は僕のことが嫌いなようです。毎日、一番最後までやっても課題が終わりませんでした。コツコツ積み上げることが大事であることが身に染みてわかりました。それでも先生方がものわりの悪い僕に対しても根気強く指導してくださったお蔭で今まで投げ出さずに来れたと思っています。頑張ります☆

5. 帰りたい 思いが強く ミス連発・・・

医学統計が、こんなに沢山のことが考慮されて行われているとは知りませんでした。一つ一つの分析に意味があり、様々な影響を考えなければならないことが良くわかりました。こなす課題が多すぎて、まだ頭の中で整理がついていません。これからしっかりと整理し、理解を深めたいと思います。そして、パソコンもしっかり使いこなせるようになりたいです。

6. 統計や ああ統計や 統計や

パソコン自体苦手なので、今週の授業は本当に大変でした。しかし、最初は理由がわからず途方にくれた統計学も、一週間の授業で幾分か理解できるようになったかと思います。今後につなげていきたいです。

7. 苦しんで 学んだことが 身になった

この一週間、医学統計の基礎を学び、とても複雑で難しかったです。でも、今まで何気なく見ていたデータが色々な因子を考慮して、根拠に基づいて出されていると実感しました。また、3年生でも頑張ります。

8. 突き刺さる 達成感と 疲労感

この1週間、結構しんどかった。ただ、内容の濃い充実したものになったので、必要なときに今回の実習で学んだことを生かしていけたらと思いました。この1週間、夜遅くまで本当に有難うございました。

9. 今週で コピペ達人に なりました

私はパソコンがとても苦手なので、2年生が始まった4月から、この医学統計学の授業が不安でたまりませんでした。でも周りで一緒に課題を解く友達がいたから、最後までやり切れたのだと思います。何より、丁寧に時間をかけて説明してくださる先生のお蔭で、統計学やパソコンについて少しわかった気がします。本当に有難うございました。今回学んだことを将来、社会医学や臨床医学における研究に生かしていけたら良いと思います。

10. ドライアイ わが宿敵は ここにあり

統計の実習を一通り終えましたが、実際にどう使っていくのか想像もつきません。しかし、演習問題の数が多く、腰の痛みを覚えた分、きっと体に刻み込まれたことかと思えます。

11. 簡潔な 文章がひめる 奥深さ

この一週間の統計の授業の中で学んだこと、我々生徒が最も心を砕いたことは、簡潔な文章を追及するということがあった。日本語を駆使して、より短く、しかし決して不足のない情報を相手に伝えることの難解さ。これは日常まれにしか体験しえないものであり、更に様々な面で他の人たちに比べより蛇足の多い生活を送る大学生にとっては、脳細胞が活性化するかのような死滅するかのような、そんな新鮮な刺激を強いるものであった。更にこの最後の課題たる川柳というものが、同じくより短い文章をもってその感動、心の機微を不可分無く相手に伝えんとする試みであるという点に、課題を与えた者が感じるであろう愉快さを、想像せずにはいられない。

12. 流行語 クラスの間じゃ コピペです

統計は去年勉強していた内容でしたが医療統計と言うことで、かなり（本当はかなり！）苦戦しました。初日には統計ならではの解答の仕方、言い回しに慣れず、へこたれそうになりました。しかし、日を経るにつれて段々と慣れることが出来て解答し易くなっていったのが嬉しかったです。この1週間（あつという間でした！）を過ごしたことによって、テレビ番組のアンケート結果（めざましテレビなど）を見ても、「この結果は果たして有意性を調べているかどうか怪しい…信用できないなあ」と思うようになりました。今までテレビの情報を鵜呑みにしていることが多かったので、大きな進歩です！

また他人から言われたことをすぐ信じるのではなく、一度落ち着いて自分で正しいかどうか吟味することが大切かもしれないとつくづく感じました。今回学んだことを忘れないようにしつつ、3年次の授業を楽しみにしています。（SPBSが何の略かを個人的に考えてみました） S…寿司食べる P…パラパラ B…ばらけた S…しゃりがいい

13. パソコンに 向かうと増える ひとりごと

統計の考え方がなかなかわからなくて、毎日遅くまで頭を悩ませていた一週間でした。色々な意味で、統計は奥が深いなあと感じました。短期間でいろんな方法を学んだので、頭の中はまだゴチャゴチャしていますが、多くの演習問題を解いて結構鍛えられた気がします。患者さんへのわかりやすい説明や論文作成などのために、これから自分で統計を使う機会があると思いますが、統計のプリント片手に頑張ります。この一週間、いつも遅くまで有難うございました。時間によって変わる SPBS の背景に、けっこう癒されました。それから、先生が私の地元をご存知で嬉しかったです。

14. 処理ミスで 頭の中が 真っ白に

最初はまとめ方についてどうしたら良いのかさっぱり分からなかったが、日を迫る毎にコツを見つけていった。文章を作る際に必要な要素が何であるか、どうやったらわかり易くなるかについて気をつけて実習をすることができた。操作ミスが多く、毎日のように遅くまで残ることになったり、家で作業することになったりもしたが統計に多く触れられたことはとても有益だったと思う。来年の公衆衛生の際にミス無く、今回学んだことを有効に活用できるように復習したい。

15. 肩並べ みんなで奮闘 統計かな

今週の医学統計学の実習を通して、医学論文などにおける統計の持つ意味の大きさを実感しました。また実際の誤用例などにも触れ、論文を書く研究者の統計方法の選択は注意深く慎重に行うべきであり、筆者の責任の重みを強く感じました。すべてが初めてで慣れない操作であったこともあり、実習課題を含めた統計の操作や意味の理解に、苦しみましたがこの1週間で得たものはとても大きかったです。また3年生で統計学を学びますが、そのときに今回体得したことを活かせるようにきちんと復習したいと思います。一週間の丁寧なご指導、有難うございました。

16. 今週は 寝てもさめても 統計学（今週は夢の中でも課題をやっていました）

今回の医学統計を通して、医学にとって統計学が深く関わっていることがわかりました。この講義を受けるまでは、医学統計とは基礎や研究の場面で力を発揮していると思っていましたが、実際に課題をこなしていくうちに、臨床の場面にも大きく関係していることがわかりました。今回の講義を基本として、学生であるうち、また、卒業して基礎や臨床の場で働くときに医学統計を利用し、証拠に基づいた医療を実践していきたいです。有難うございました。

17. 気がつくとも 周りに誰も いなかった

非常に難しい授業だったと思います。理解しようとは努めましたが、なかなか先生の仰ることが頭に入っていかず、大変苦労しました。ですが、この苦労は将来、同じような苦境に立たされたときに生かされていくものと信じております。とても貴重な経験を有難うございました。再来週もよろしくお願いたします。

18. 冷や汗が 数値が違うぞ やり直し

考えていた以上にハードな1週間でした。口では EBM が大事だ、と言っていましたが、この一週間で完全とはいえなくとも EBM が何か身に染みてわかったように思います。先生方もご指導有難うございました。

19. 危険率 気をつけなくちゃ 恋愛は

この一週間でかなりパソコンに強くなった気がします。目もだいぶ悪くなりました。現代人の目が悪くなるのは仕方がないことなのかもしれませんね。将来は眼科医になりたいと思います。嘘です、麻酔科になりたいです（帰無仮説「わたしが麻酔科医にならない」は棄却され、麻酔科になる確率が有意に高いと言える）。

20. 言うことが 先生ごとに 違ってる

医学統計とは様々な解析方法があり、使いこなし、覚えるまでが大変でした。将来的に、データを駆使して、患者さんにわかり易いデータ表示を行えるように更に精進したいと思います。

21. つかれたよ はやくおうちに かえりたい

私のパソコンはインターネットも繋がっておらず、なかなか触る機会がなかったのですが、一週間パソコン漬けの生活を送っていくうちに、キーボード入力や、基本的な操作に慣れていくことができ、今後役に立ちそうな知識を教えて頂けて、ハードではありましたがためになりました。有難うございました。

22. 1週間 重ねた苦労が 糧となる

1週間、医学統計を学んできて、予想以上にハードな内容に正直驚きました。しかし、将来、自分が論文を書いたり、読んだりする際に必要になってくる知識をこの段階で学べたことを嬉しく思います。自分の力だけでは解けないような課題も先生方の丁寧な指導や、友達と議論しあうことで解決することができました。貴重な1週間を有難うございました。

23. 今週は 帰りが遅くて つらかった

統計ものすごく難しかったです……。今週学んだことを忘れないように自主的に修行をしたいと思いました。有難うございました。

24. 統計の 課題が終わらず 帰れない

私は、この医学統計を学ぶことにより、医学的なデータを客観的に解釈できるようになりました。また、難しい課題に挑戦することにより、チャレンジ精神が更に向上しました。これからもこの授業で得た知識を生かし、さらに精進します。

25. 十年後 使ってみたい 統計たち

この5日間、正直本当に苦痛で、パソコン見続けると目が痛いし、頭が痛いし、飲食禁止だし、早くいつもの勉強に戻りたいと思っていました。でも先生たちに将来使うことだからしっかりやるようにと言われ、自分なりに課題に取り組みようと決心しながら五日間を終わらすことができました。せっかくここまで習ったのだから、将来論文を書くときや、三年生の授業で使うときは忘れていないようにしたいと思います。有難うございました。

26. もう二度と やりたくないよ 数値入力

将来自分に統計学が必要となるかどうかは、少し疑問に思いました。しかし、この授業を通して、自分が分かっていることを知らない人に伝える時、自分では分かり切っていることも相手に伝えないと理解してもらえないということを学び、また教科書やパンフレット、テレビに出てくる数値の図がはたして統計学的に正しいのかという「目」を持てるようになったことを考えると私にとって有意な授業であったことは、間違い無いと思います。

27. パソコンと 毎日格闘 肩こった

1年生の後期に統計の授業があったが、そのときは習った計算法が医学に関連があるとは創造もつかなかった。今回の医学統計の授業で、様々な例題や演習を通して、統計の重要性を実感することができた。……とは言ってもまだまだ理解できていないが。そして、授業を通して一番学んだことは、将来医師として患者にデータを説明するとき、簡潔にかつわかりやすく伝えることが大事であり、それを常に念頭において文章考えていかなければならないということである。肩が凝ったが、すごく有意義な授業であった。先生方には、連日遅くまで指導していただき、感謝の気持ちでいっぱいである。

28. 検定の 値が違い やり直し

医学統計の分野は、生物である人間の様々な情報をデータとして扱う学問であり、非常に多様な解析方法や比較方法を用いる。雑多な情報から、種々の検定方法により幾つかの規則性を見つけ出す作業は、興味を覚える反面、とても難しかった。とりわけ最後の総復習では、どの検定を使えば題意に沿ったデータを得ることができるのかを考えるだけでかなりの時間を費やした。学んだ検定法、解析法を必要なときに用いることができるよう、さらに学習を深めたい。

29. すいません 遅刻や惰眠 反省だ

今回の医学統計の授業の感想を書きたいと思います。正直、パソコンというものに不慣れな自分はこの授業に対してかなりの不安がありました。予想どおり初日はかなり苦戦しました。しかし日が経つにつれパソコンに慣れていく自分を実感しました。そしてキーボードを打つのも早くなりました。また USB というものがどういう物なのか知ることができて良かったです。今考えるとこの授業を受けて良かったです。先生方、ご指導有難うございました。また遅刻や惰眠をしてしまい、すいませんでした。

30. 終わったら とてつもない 達成感

月曜日は正規性を検討するだけでも時間がかかり大変だったが、日がたつに連れて少しずつ理解でき、知識が積み重なっていった。特に、年齢を考慮したり重回帰分析のあたりから難しかったが、肺癌と飲酒・喫煙の関係や血圧を規定する因子が幾つかある場合など医療従事者なら将来必ず使いそうな統計を学ぶことができて良かった。

31. パソコンで 医療のつらさ 思い知る パソコンで OLのつらさ 思い知る

初めて本当の統計に触れたような気がしました。頭が賢くなった感じです。いやー、パソコンにももっと慣れないといけませんね。とりあえず課題が終わってよかったです。先生には本当にお世話になりました。テキストが使い易かったです！むしろテキストを読んだら課題ができました！最初の頃はテキストを読まなさ過ぎてすいません。本当に有難うございました！

32. 毎日の 演習多さに 心折れ

先輩から、医学統計は大変だから頑張れと言われていた通りに、今週1週間は解剖学実習並みに忙しかった。統計学で気力が吸い取られ、アパートに帰ると、テスト勉強する気力が残ってなかったため、全く勉強ができずに、自分の集中力の無さを実感した。しかし、医者になってから、とても必要になる知識を学べたので、自分なりに充実した1週間だった。

33. 統計か ああ統計か 今日もまた

人生でこれほど消耗した日々も無かったな～としみじみ思います。後期の最初か、一年生のときにやりたかったと・・・

34. 統計を 思い出すたび 胸躍る

この一週間、統計を学ぶことができたのはとても良い経験だったと思う。医学において、知識だけを持っていても、それを活用し、他者に伝える術を知らなければ全く意味がないということを実感できたからだ。統計では様々な考え方や式を用い、一つでも間違えると結果に大きな差がでてしまう。それは論文の作成などにおいて、もっとも気をつけるべき点である。今回の授業で学んだことを生かし、これからも勉強に励みたい。

35. 統計に 心奪われ 片思い

今週1週間を振り返り、まず大変であったというのが率直な感想です。パソコンと向き合う時間が今までにないほど長く、目が痛くなるのが何回もありました。しかし、そうやって休んでいたら演習がその日のうちに終わらないので体に鞭を打ってやっていました。しかし、そういった大変な境遇にあうことでしか人は成長することができないと思います。よって私はこの1週間で、少しは成長できたと思います。また、医学統計という分野に初めて触れ、いかに自分が何気なくみていた論文などの数値に意味があるんだと知ることができました。将来自分も論文を書く機会がくると思います。そのときに、この1週間で習ったことを思い出し、間違った統計を書かないように気をつけていきたいです。

36. 午後七時 疲れ身沁みいる 「よし、OK」

長い一週間だった。正直、実習中は毎日出される課題の多さと難しさに閉口し、何度か「もう嫌だ」と思う事がしばしば、いや、かなりあった。けれど講義の度に、それぞれの検定法にどのような意味があるのか、何故その方法を用いるのか、説明を聴くとやはり一つひとつの方法をちゃんと使いこなせるようにならなければならないな、と感じた。社会医学といい EBM といい、将来医師となったときには統計と関わらずにはいられないのだから。統計と医学との関係が、自分が想像していたよりも重要であることも、今回の実習を通してはじめて知った。以上のことを考えると、今年はこの授業が必修になって良かったと思う。期間が短いうえに毎回課題をこなすことに必死だったので、実習で習ったことをまだ頭の中で整理しきれずにいる。後々困ることの無いよう、嫌だとは思わずにちゃんとプリントを見直すことにしよう。最後に。きっと私たち以上に、毎回遅くまで付き合い教えて下さった先生方のほうが大変だったと思います。この一週間、どうも有り難うございました。

37. 統計で 危機感おぼえ がんばります・・・

私の要領が悪くて、かなりきびしい一週間でした・・・でも毎回丁寧に教えてくださって有難うございました。将来的に統計を扱える医者にならなくては・・・と思いつつ。まだ先は長そうですが、頑張ります。

38. 有意さの 吟味に追われる 昼夜かな

正直、大変しんどかったです。普段ほとんどパソコンに触れることがなかったのに加え、統計的な考え方がなかなか理解できず苦しみました。また自分の文章構成力のなさを今回の課題を通してつくづく実感しました。しかし、一週間の課題を遣り通したことによって、統計的な手法について知ることができたのは良かったと思います。授業によって、多少なりとも医学論文を解釈する基礎を身につけられたと考えると、一週間の努力も意義のあるものだったと思います。まだ、授業で習った統計法の中で使い方や考え方が完全に理解できていないものがあるので、今後自分なりに勉強して理解を深めていきたいと考えています。先生方も、4人で50人もの生徒を指導するのは私たちとは比べ物にならないほど労力がいったと思います。一週間ご指導いただき、本当に有難うございました。

39. 統計は 難しいけど ためになる

正直大変だったが、今回の統計の授業は将来の役に立つ私にとって有意義な授業だった。今度から統計の値を見たとき、意味が少しだがわかるようになったことは嬉しいことである。

40. 統計を 証明できたが 外は闇

今回の授業では医療統計の重要性（説明をするときの説得力）や検討するとき間違え易いところ（交絡因子の影響を考慮しない論文など）がわかりました。短い間に沢山の事を学んだので全てが頭の中に入ったかはわかりませんが、気になったときにはまた授業のプリントとノートを見て確認してみようと思います。

41. 統計で パソコン打ちが 速くなる

統計の勉強は去年しましたが、このような利用法があるということは知らず、とても重要な計算であるということが分かって、良かったです。5日間、毎日パソコンに向かい続けるのは苦しかったです。親身に手直しをして下さる先生方あつての授業でした。有難うございました。

42. わかること わかられること 別世界

今まで、こんなにも長い間パソコンと向きあい続けたことはなかったと思います。率直に言うと、とても疲れました。SPBSの計算機は、1年次の統計の授業で苦勞して計算したものが、簡単に算出されるので素晴らしいと思いました。しかし、場合によって計算方法が沢山あるので、適切な方法を選ぶのが難しく、また、検定を行う前に確認しなければならない事項があったりして、色々なことができる分、踏まなければならない手順が多い複雑な世界だなと思いました。今回の授業から、どのようにレポートを書くかと簡潔にわかり易く、かつ正確に伝えられるかを学びました。これを生かして、人の伝える練習をしていきたいと思いました。

43. 予想外 統計学の 道険し

医師にとって統計学は非常に重要だときいていたので、今回の授業は頑張っってしっかり統計学を身につけようと思って臨んだのですが、現実にはとても難しくなかなか理解しにくい内容でした。でも、報告をするときに考慮すべきことは何か、どんなことに気をつけるべきかなど、たくさん注意すべきことがあるのだと分かり、それだけでも大きな意味があったと思います。

44. 統計で 深まる絆 助け合い

医療現場など私たちの身近にある事柄をテーマにした例題を用いて様々な統計的手法を学び、統計が、いかに科学情報を扱う上で重要か、よく理解できました。EBMに即した医療を行える医師になるには、統計的考察を確実に用いることが絶対に必要であると感じました。

45. 酷使して 申し訳ない！ デリートキー

統計学を学んだのは1年生の時以来でしたが、1週間みっちり医学統計の演習をしたことで、将来頻繁に目にするであろう医学論文が身近に感じられるようになりました。自分が書く時は勿論のこと、人が書いた論文を読む時にも役に立つということなので、様々な場面で今回学んだ医学統計学の基礎のありがたみを実感できるのではと期待しています。

46. つかれたよ 課題がいっぱい あったから

医学統計はウワサに聞いたとおりハードな授業でした。先生にチェックしてもらったときに自分の文章力の無さと説明能

力の拙さを思い知らされました。実際に医師として患者さんに説明する際でも患者さんにわかるように日本語で記述しなさいと何度も注意されましたが、それがどんなに難しいことか思い知りました。まだまだ医学統計を理解したとは言いきれませんが、次からは論文などで統計に触れた際、その正確さを自分なりに検討しながら読みたいと思いました。また、統計データの入力の方を習得しただけでも大きな進歩だと思うので（キーボードの打ち込みも以前より大分早くなりました☆）、もしこの先論文などを書く機会があったら役立てたいです。

47. 1週間 思ってたより 良かった

今まで統計とはどのようなもので、どんな方法で行っているのかわからなかったが、この1週間で少しは理解できたと思う。課題が多くて大変だったが、その分キーボード入力も速くなったし、将来論文を読む上でも役立つ知識なので、とてもためになった授業だった。

48. 統計を 出来てはじめて 医学生

5日間にわたり、医学統計を教えていただいた今週は、慣れない作業に非常に四苦八苦した一週間でした。しかし、医学生として非常に重要であり、また必須でもあるこの統計学を深く学ぶことができたこの一週間は私にとってとても有意義なものだったと思います。

2008/12/8～12

49. 正規性 いつも始めに 確かめる

この1週間は朝から晩まで統計について学び、頭がいっぱいになりました。この短期間ではなく各週ごとに1つの統計法について演習を行い、長い期間で少しずつじっくりと学びたかったというのが本音です。あと、先生がもう少し多かったら良かったとも思います。

50. 寝ていても 数字が出てくる 夢の中

この一週間はずっとパソコン画面を見続けて、他の科目とは違う疲労感がありました。先生方もとても疲れているようにみえました。統計の難しさに頭を悩ませ続ける一週間でした。

51. パソコンは 時間を決めて 使おうぜ

先生が大変そうすぎてむしろそれが気がかりでした。医学統計は正確に用いれば非常に有用な学問であるということが授業を通してわかったような気がします。実際に臨床医になったときに論文を書く機会があるかどうかはわかりませんが、ほかの人が書いた論文を読む際には統計の知識があることでその論文が正しいのかどうか判断できるようになったと思います。有難うございました。眼精疲労の僕が一句詠みたいと思います。

52. 打ち込んだ データに間違い 涙出る

医学統計では、自分で仮説を立てそれについて検討し結論を出すということを繰り返す過程で、論理的思考が鍛えられたように思います。この講義で習ったことを、論文等を読むときに生かせるよう精進したいです。私たち学生の出した解答をチェックしたり質問に答えたりと、先生方は本当に大変だったと思います。お疲れ様でした。そして、有難うございました。

53. O.Lの 気持ちになれた データ打ち

数値に対する見方、考え方が少しずつ変わってきました。まだ慣れない部分も多く、最終日は戸惑うことも多かったように思われますが、これから、少しでも身に付けていくようにしたいと思います。夜までかかってかなりキツイ日もありましたが、何とか課題を提出したときの達成感は格別でした。毎日、朝早くから夜遅くまでチェックして頂き有り難うございました。自分自身の理解度が低かったのも、先生方の苦勞の方が大きかったと思います。

54. 集中は 時間と量が もたらします

2年の実習の中でもっとも集中した実習だったかもしれない。個人作業であり、急がなければ時間内に終わらせることができない、量の多い内容がそうさせたのだと感じます。この強制的な環境のお蔭で珍しく大学の授業、疲れることができました。1週間に有難うございました。

55. 統計は 単純明快 とはいかん

試験が差し迫っているためそんなに勉強することができませんでした。もうちょっと時間的に余裕のあるときにやって欲しかったです。

56. 奥深い 医学統計 むずかしい

医学統計の授業は難しく、大変でしたが、様々な分析が可能であり、こんな分析もできるのかと感心しました。一週間と短い意間でしたが、内容は濃く、自分にとって大きな教養となりました。

57. 手を挙げて 先生待つ間（ま）に 筋肉痛

はじめは医学統計がどういう風に医学の世界で生かされているのか、わからない状態で学習をスタートしましたが、学習を進めていくうちに、とても興味を持ちました。5日間経って、自分の数値の見方が変わったことに驚きました。普段の医療時事ニュースを見ても、医学統計が広い分野で大きな役目を担っているのだと感じました。何気ない事象に対して、自分で学習した統計学の知識を投影できることが今回得た大きなことだと思います。5日間が短く感じました。来年の社会医学の講義もとても楽しみです。

58. パソコンよ 早く覚えろ 帰無仮説

今回は将来役立つことも多いであろう医学統計の授業ということで、非常に実践的な内容の学習ができたと思います。正直コンピューターはタイピングが遅めで得意というわけではなかったのも、全ての演習を終えるのはとても大変でした。それでも短時間で様々な医学統計を学ぶことができたので、苦労した価値は十分にあったと思います。学べたことは多かったのですが、一日の分量に余裕が無いかなという印象を受けました。完全にモノにするために1つの演習にもっと時間をかけたいと思いました。

59. 一週間 数字がいっぱい 頭いたい

やっていることがとても難しく、ついていくのが非常に困難でした。しかしやっているうちにコツがつかめて来て、とても充実しました。

60. 統計と 医学発達 とともにあり

将来医師となることができたとして、臨床に進んでも、基礎に進んでも統計法が非常に大切となってくるので、今週一週間で学んだ統計方法を基にして、実際に医療現場に出る前に、今後出てくる統計方法もしっかり身に付けられるように努めていきたいです。遅い時間までご指導頂き有難うございました。

61. きむかせつ スペース押すと 金仮説 (ちょっと反応してしまいました)

こんなに数値と向き合ったのは初めてです。はじめはこんな不可能と思っていましたが、最後には少しは統計に詳しくなれて良かったです。でもこの統計の問題数は尋常じゃなく多いと思います・・・。冬休み後実験によってなかなか勉強できないので少しの数値間違いは打ち間違えのミスとして見逃してもらえると嬉しいです。最後に毎晩夜遅くまでチェックやヘルプしてくださった村田先生、岩田先生、中村先生に感謝しています。有難うございました。

62. 統計や 長くて大変 1週間

この1週間、毎日が緊張の連続でした。途中椅子を入れ替えて下さったお蔭で、腰痛が軽減されました。課題数が多くて、大変でした。

63. 統計で たくさん頭を 使ったよ

毎日課題が多くて、一つ一つの課題も難しく、大変だった。キーボードを打つスピードは少し速くなった気がする。統計を使って研究をしたりするのはすごく大変なことなんだなと思った。

64. 帰無仮説 そのまま打つと 金仮説

パソコンを使うのに少し慣れたとおもいます。論文のデータなども、このような過程を通してできていると思うと、論文を書くというのは難しいことだとわかりました。やってみて、面白かったです。タイタニック号で、どの席の死亡率が高かったかということにも、統計学が使われており、色々な場面で大切なんだと実感しました。

65. 終わらない ああ終わらない 終わらない

9時まで学校に残るのは解剖以来でした。夕飯が食べられなくなりました。けど、コンピューターの扱い(コピペ)が以前よりも速くなったように思います。

66. 統計は 俺と周りで 有意な差

要領の悪い私には非常に厳しいものでした。時間的にギリギリでした。

67. パソコンと 仲良くなった？ 五日間

私は普段あまりパソコンを使わないので、今週のように朝から晩までパソコンに向き合ったのは初めての経験でした。キーボードを打つのが早くなった気がします。今回沢山の事を学びましたが、忘れないようにしたいと思います。

68. パソコンで 肩こり過ぎて 湿布くさい

普段何気なく見ている数値はこんなに大変な作業のもとに出されていたのかと思いました。解析方法についてまだ頭の中で整理できているとは言えないので、また使うときまでには確信をもって使うことができるようにしたいです。

69. 半角と 全角間違い 腹が立つ

かなり疲れました。でも統一試験前にこの授業がなくてよかったと思います。久しぶりに数学の話だったので、あんまり頭がついていけませんでした。大学に9時まで残るという貴重な体験もできたし、医学の研究というのが大変な作業であることがわかって良かったです。強いて言うなら、もう少し演習量を少な目にして欲しかった…。

70. 辛くても なんとかなった 統計学

思っていた通り大変な授業でしたが、やっていることが理解できると、思っていたよりも楽しかったです。統計のことも（大体）わかったし、パソコンも少し使いこなせるようになった（気がする）ので、是非これからの勉強に活かしていきたいと思います。

71. 「何か書く」…考えること……腹減った… 夜に舞う 雪に足跡 泥遊び

提出書類不備で呼び出されない、やり直しのないことを切に祈ります。冬休み。とりあえず、Macで統計ソフトがダウンロードできないのが少々ショックでした。お疲れ様でした。

72. ポジティブに 進んでいけば けせらせら

統計学は大事だと思って頑張っていました、あまり頭に入っていないので、復習をがんばります。

73. 「やりなおし」 …いまさらそんな もうだめだ…

大変だという噂は聞いたことがありますが、正にその通りでした。一通り解析結果を出した後で間違いに気づいたときなどは本当に泣きそうでした。それは別として、統計学自体はかなり面白いと感じました。様々なパターンに対応して様々な検定方法が出てきて感動することもありました。ただ、それを使い分けるとなると、色々な条件を考えなければならずかなり難しかったです。あと、夜遅くまで残ったときに秋田の名所や海外の写真などを説明して頂けたのが一番楽しかったです。

74. 朝起きて 今日も辺りは 雪景色

もともと数学に興味があった自分なので統計学には非常に熱心に取り組むことができた。医学を数学的に見ることはとても新鮮だったし、医学統計が現在の医療に欠かせない分野であることも実感した。前半の皆に言われていたように、この一週間は本当に大変で非常に長く感じた。個人的には約3ヶ月続いた人体解剖学よりもきつかった。しかし、それだけこの一週間で得たものも多い。ここで得たものを糧にこれからの勉学に励んで生きたいと思う。

75. 出したいな おなかぺこぺこ 帰れない 速くなる 両手はロボット うれしいね 神経も パラメトリックも 学んだよ 筋トレだ 待ってもこないよ しびれちゃった 枝いっぱい 皆折れてます 冬ですね 目が3 のび太になるね ドラえもん

パソコン操作が苦手な私にとって、最初は恐怖と不安しかありませんでした。実際、難しく何度も先生や友達に聞いて、作業時間も長くかかってしまいましたが、それほど苦痛ではありませんでした。それは先生方もすごく気さくな方ばかりで話し易かったこと、タイピングの速さが次第に速くなっていく嬉しさが少し楽しさに変えてくれたのだと思います。実際に自分が将来研究結果等を発表するときは誤りのないように今回学んだことを生かしたいと思います。

76. 初日から 今日この日を 待っていた

この一週間が無事に終わり、ほっとしています。医学統計がこんなに大変だとは思いませんでした。一年で習った統計

は何の役にも立ちませんでした。この一週間の頑張りが、いつか報われたらいいな、と思います。

77. 川柳なんて 考えないで 今は寝たい

一年次の時に統計に関して授業で習ったのですが、ほとんど意味を知らないまま、例題に沿って数値を入れていただけでした。でも、今回の医学統計ではしっかりと「対応があるから、ないから」「正規分布するから、しないから」など、しっかりと根拠付けをして検定を行う方法を知ることができたと思います。ただ、とにかく長い！ 疲れる！ 腰が痛い！ 二年で解剖以上にきつい授業に当たるとは正直思ってませんでした…。でも、思い返してみると充実した一週間でした。ご指導有難うございました！

78. OLの 苦労が染みた 一週間

1年生での授業の時点で、統計には苦手意識も強く持っていたので、このたびの授業も苦労をしましたが、いつもとは違う頭の使い方をし、また文字も早く打てるようになったので、有意義な一週間になりました。有難うございました。

79. ああ無念 保存し忘れ 打ち直し

とても大変な1週間だった。難しい内容ではあったが、それをスッキリと自分の中で理解できた時は、とても気持ちよかった。今回の授業で統計についてはかなり理解を深めることができただけでなく、さらに統計の知識や論文の読み方、書き方の基礎も学ぶことができ、医師への大きな一歩になったと思う。チェックする先生が少ないのはキツイです…。

80. 手を上げて ただひたすらに 君を待つ

先輩から医学統計は大変だという話を聞いて、意気消沈して授業に臨んだが、やはり厄介この上なかった。1年生のときに統計を学んだものの、一生使うことはないだろうと思い、頭の中から消去された知識を今年また使わなければならなかったし、さらに色々な手法が現れたからであろう。新しいことを学ぶというのは相当の根気、労力を費やさなければならず、この1週間がとてもハードに思え、頭を抱え続けた。その結果、得られたものは、今のところは一生使わないだろうと思いつている数々の分析方法であった。丁度試験勉強に本腰を入れ始めた時期ともこの実習が重なり、本当に有益（有意？）なのか常に考えてしまっていた。授業にも無駄があり、教員の人数不足、教材の不親切さは否めなかった。一人ひとりのチェックにかかる時間を大幅に削るか、教員を増やすか、教材に解答例を示すか、ということがあったらより良かったと思う。実際、待機時間が作業時間に匹敵するほどであったので、それらが実行されれば、教師側も学生側も時間を有効利用できたかもしれない。医療知識を患者に伝えるときに簡略化して伝えることが必要で、その練習にもなるということを知り、成る程と思ったが、初期は教員に自分の作った課題の解答を見せるたびにチェックをいれられ、難しかった。そのことに関してはこれから一番重要になってくると考えられるので、精進していきたいと思う。

81. ひたすらに 出した数値を 文章化

この授業を受けるまでは医学統計というものが大事だとは思っていなかった。しかし、薬や治療法に対する効果を分析したり、病気や高血圧などの要因を様々なデータから見つけ出ししたりする時に絶対に必要な知識だと思った。患者に治療や薬の効果を説明する時にも、具体的な数値を統計により、わかり易く示すことでこちらの意図を患者にもしっかり伝えられるだろう。毎日遅くまで慣れないパソコンに向かいとても長い1週間だった。この苦労を無駄にしないよう将来に役立てたい。

82. 1週で 目薬1本 使い切る

これまで一年生の基礎統計、応用統計において統計学を学んだことはありましたが、実際のデータを読んだり作ったりするにはとても使えないような内容でした。今回の医療統計の授業では、実際のデータ（のようなもの）を読む内容もありましたし、かなり実践的な内容だったと思います。これまで意味のない数に見えていた検定・分析結果が、少しわかるようになった気がしました。

83. パソコンの 画面の前で にらめっこ

なかなか正解にたどり着けず、疲れました。今後、困難にぶつかったときはこの1週間のことを思い出して頑張りたいと思います。あと、タイピングの腕が上がりました。椅子が良いものになってよかったです。

84. 冬休み 秋田の冬と 家ごもり

ここまで、論理的に実験データを取り扱わなければならないとは、思っていなかった。大変な1週間ではあったが、学ぶ価値があった。

85. いつの日か できればいいな 統計学

大変だったが充実した一週間であったと思う。将来、この経験を生かして論文が書けるようになったら良いと感じた。この一週間、遅くまで付き合ってくれて有難うございました。

86. 重回帰 回帰係数 ウィルコクソン

授業が始まったばかりの頃は何をやっているのか全くわからなくて、とりあえず作業をしている感じで辛かった。日を追うごとにやっていることは何となく分かってきたが、やはり作業は辛かった。しかし、今は全ての演習を終えて、達成感を感じている。パソコンの知識や技術をもっと上達させないといけないと感じた。

87. 統計や やっても次の日 忘れてる

医学統計は将来医者になっても必ず使うと思うので今回学んだことを活かしてこれからも頑張って勉強したいです。

88. 帰無仮説 何回立てたか わからない

私は普段ニュースで見るとようなアンケート、内閣支持率になんとなく胡散臭さを感じていた。どのようにこの値を出してきたのか、アンケート対象によって大きく変わるであろうこの数字を如何に出しているのだろうか。この疑問にこの統計学の授業は見事答えてくれた。まず、年齢を考慮して値を出したりと多様な使い方のできるこのSPBSというソフトに感動した。そしてこのソフトを使って、毎回色々な問題を統計学で解くうち、家に帰ってニュースを見ても「これって帰無仮説〜だよなっ」、「有意に増加しているとは言えないのかしら」などと、統計のことを考える時間が増えていった。中でも授業で一番感動したのは「年齢を考慮して値を考えられる」ということだった。ぼんぼんっと数値を打つと年齢調整後の値が出てくる。これで人々の多様性に合わせられるのか……。ニュースはこのように考慮して値を出しているであろう。この発見は私にとって革命であった。一週間有難うございました。

89. 挙げた手が 疲れてきたら ウサギ耳

外を見る タッチするのは ブラインド

ブラインドタッチが速くなりました（笑）。あとNum Lockでの数字の入力も。朝のニュースとかで、ニュースについて「100人に聞きました」みたいなアンケートを堂々と公表して、内閣がどうか言っていますが、ああいうのって有意な差はないんだろうなあ、とテレビ見ながら思っていました。

平均比べて高ければ高い、という考えが棄却されました。時間が経って今週の内容をすべて覚えているかは定かではありませんが、考え方が深まっただけでも、帰無仮説「授業を受ける前と後で私に有意な差はない」は $P < 0.05$ で帰無仮説は棄却できる。よってこの授業を受けることが有意であることがわかる。生徒たちも手挙げて終電終わった後にタクシー捕まえるくらい待っていて大変でしたけど、先生方はもっと大変でしたよね……。お疲れ様でした。1回の扱う量がもう少し少ないと、余裕を持って、じっくり味わいながら取り組めたかもしれないとは思いました。内容は面白いですから。

もう年賀状を各シーズンですか？ 「明日書く そう言い続け 年が明け」

今日できることは今日やりましょう。勉強も……。 “明日やろうは馬鹿野郎”と聞いたことがあります。授業についての川柳も作ってみました。ずっと手を挙げていると疲れてきてだんだん手が下がってきて、頭の上で落ちてく、ってなっている人がいました（私もでしたが）。一席目は、両手だったら本当にウサギの耳みたくりますね。警察がブラインドの間から外を見るというシーンがよくありますよね。石原なんたらとか。二席目はシャレで終わりました。だらだら書くのも如何なものかと思うので、この辺りで終わります。有難うございました。

90. 終わりたい 帰りたい でも終わらない

1週間乗り切りました。どうせなら、時間をもっと取って、ゆっくりとやりたかったです。1週間でこの量は多すぎですよー。2週間ぐらいあってもいいと思いました。

91. パソコンと 向きあう日々を 乗り越える

講義のなかで1番印象に残ったことは「パーセンテージが提示されているときは分母を必ず確認しなさい」ということであつた。テレビニュースで「～%の人に効果がありました」などの報道を毎日のようにみるのが、確かに同じ数値を表しているでも分母が異なればまったく違ったことを表し得るのだと改めて考えさせられた。普段はパーセントの数値だけをみてそうなのかと納得したり、考えが動いたりしていた。

実習で様々なデータをいろいろな方法で検討、分析した。検討したものも更に有意性を確かめ、「本当に有意であるのか」を調べるのはものすごく大変なことだった。～%という具体的な数値は私たちにとってわかり易くそのままを捕らえ易い情報であるが、普段報道されているそれらの数値は、果たして深く有意性を考慮しているものであるのだろうかと感じた。このように実生活にも統計学のことを考えられるのだなと思うと親近感が持てた。将来患者さんから頂いたデータを用いるようなときは慎重に扱い、吟味して本当に有意な正しい結果を導けるようにしたい。

92. 統計は ああ難しい お手上げだ

課題を解くのに長い時間を要して苦勞した。解析の仕方が多様にあり、最終問題などどの解析方法を用いたらいいのかわからずに苦勞した。しかし、実際にはこの作業が大事であるがもっとも慎重にしなければいけない部分であることに気づいた。解析方法さえ決まってしまうと、あとの解析は統計ソフトがやってくれるのだから。最後に、理解度は今一であったので、また必要になった際に復習するようにしたい。

93. 夜更けて 部屋に響くや タイピング

本当にしんどかった。でもバカ正直にやったぶん医学統計のことを少しは理解できたと思う。たまには、こんなに根付めてひとつのことをやるのも悪くないかもしれない。夜遅くまで付き添ってくれた先生方に感謝です。

94. 川柳を 和歌と間違う 浜崎が
川柳を 和歌だと思ふ 浜崎が
川柳と 和歌を混同 浜崎が
長々と 値書いても 棄却され
川柳の 後に七・七 浜崎が
川柳の わびさび知らぬ 浜崎が

はじめのうちは統計処理になれず、作業スピードがかなり遅かったが、式の種類（パラメトリックやノンパラメトリック etc）や有意差を自分で判断できるようになったと思う。これから統計を使う場面に遭遇したら今週の経験を生かしたいと思う。

95. がんばっても かなりがんばっても 夜の9時

文字を打つのはそれなりに速い方だと思っていたので、統計の授業はそれほど苦勞しないだろうと思っていましたが、実際には全くそんなことはなくむしろいつも最後の方まで残って作業していた気がします。というのも統計の手法について全然理解が及んでいなかったため、要するに1年生でやったことをすっかり忘れてしまっていたのです。正直なところ小数点までついた数字をひたすら打ち込む作業は苦行にしか思えませんでした。いつかあいつたことをする機会があるとすれば役に立つのかなとも思いました。毎回のように最後まで残っていましたが、裏を返せば先生方もそれに付き合ったださっていたわけで、その点については本当に有難うございました。最後に授業についてなのですが、あの人数を3人で見るとはかなり無理があるのではないかなと授業中頻繁に感じました。必修化したのは今年からですが、来年の2年生が選択で統計をとる際には何かその点について工夫してあげた方が良くはないのでしょうか。